

令和元年度

仙台市高速鉄道事業会計決算の概要

仙台市交通局

令和元年度仙台市高速鉄道事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本年度の高速鉄道事業は、南北線と東西線とが一体となって十文字型の骨格交通軸を形成し、本市における基幹交通機関として市民生活において重要な役割を担うなかで、安全性及び利便性の向上に取り組むとともに、利用促進や効率的な事業運営に努めました。

安全性向上に向けた取組みとして、南北線において、経年劣化した高圧受電設備の更新等を実施したほか、バリアフリー化の一環として、駅出入口の階段の段差明瞭化や駅構内における触知案内設備及び非常用警報装置等の誘導・案内設備の整備を行うとともに、駅トイレについて、入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を含めた全面改修を計画的に実施しました。

利便性向上に向けた取組みとして、勾当台公園駅北2出入口におけるエスカレーター設備の増設等を行ったほか、IC乗車券システム運用の安定性確保のため、前年度に引き続きシステム更新を行いました。

利用促進に向けた取組みとして、前年度に引き続き市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配付したほか、羽生結弦選手ポストカード付き一日乗車券の販売や、映画公開等にあわせ駅構内を活用したスタンプラリーなどを実施しました。また、お客様サービスを維持しつつ効率的な事業運営を図るため、新たに台原駅を加えた20駅において駅業務の委託を行いました。

本年度における運輸成績は、次表のとおりであります。

区 分	令和元年度	平成30年度	比 較	
			増 減 (△減)	比 率 (%)
在籍車両数 (両)	144	144	0	100.0
実働車両数 (両)	平日	124	0	100.0
	土休日	76	0	100.0
走行キロメートル (千km)	12,623	12,609	14	100.1
乗車人員 (千人)	91,683	90,893	790	100.9
定期外	42,976	43,998	△ 1,022	97.7
定期	48,707	46,895	1,812	103.9
乗車料収入 (千円)	15,775,986	15,761,663	14,323	100.1
定期外	9,354,749	9,539,332	△ 184,583	98.1
定期	6,421,237	6,222,331	198,906	103.2

(注) 乗車料収入は、消費税及び地方消費税抜きの額であり、敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。

2 決算の概要

本年度は、東西線の利用増により、乗車人員が0.9パーセントの増となり、乗車料収入も0.1パーセントの増となりました。また、収益的収支については、特別損失の計上等により前年度に比較して2,640,178千円悪化し、4,536,847千円の純損失となりました。

この結果、当年度未処理欠損金は86,717,954千円となりますが、議会の議決を経て現存しない償却資産に係る資本剰余金40,715千円を取り崩すことにより、86,677,239千円が翌年度に繰り越されることとなります。

(1) 収益的収入及び支出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△ 減)	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	計			
高速鉄道事業収益	24,574,466	103,219	24,677,685	24,010,787	△	666,898
営業収益	19,187,872	103,219	19,291,091	18,634,257	△	656,834
運輸収益	17,518,095	103,219	17,621,314	17,059,635	△	561,679
運輸雑収益	1,669,777	0	1,669,777	1,574,622	△	95,155
営業外収益	5,386,584	0	5,386,584	5,376,429	△	10,155
受取利息 及び配当金	150	0	150	2,873		2,723
他会計補助金	612,562	0	612,562	588,153	△	24,409
長期前受金戻入	4,745,155	0	4,745,155	4,753,944		8,789
雑収益	28,717	0	28,717	31,459		2,742
特別利益	10	0	10	101		91
過年度損益 修正益	10	0	10	0	△	10
その他特別利益	0	0	0	101		101

(注) 収益的収入は、消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入予算は、当初 24,574,466 千円を計上いたしましたが、営業収益 103,219 千円を増額補正いたしましたので、最終予算額は 24,677,685 千円となりました。

これに対する決算額は 24,010,787 千円となり、予算額に比べ 666,898 千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	予備費 支出額	流用増減額	計		
高速鉄道事業費用	27,188,145	1,803,121	0	0	28,991,266	28,346,055	645,211
営業費用	24,761,794	△ 195,879	0	0	24,565,915	24,028,304	537,611
線路保存費	2,300,780	△ 125,019	0	0	2,175,761	2,105,953	69,808
電路保存費	1,900,700	△ 98,241	0	0	1,802,459	1,744,177	58,282
車両保存費	1,268,876	△ 72,242	0	0	1,196,634	1,130,627	66,007
運 転 費	1,777,504	△ 90,864	0	0	1,686,640	1,608,905	77,735
運 輸 費	3,180,221	△ 127,264	0	0	3,052,957	2,940,101	112,856
運輸管理費	950,268	△ 37,121	0	0	913,147	835,244	77,903
厚生福利施設費	17,318	0	0	0	17,318	14,637	2,681
一般管理費	405,855	△ 31,816	0	0	374,039	339,283	34,756
減価償却費	12,960,272	386,688	0	0	13,346,960	13,309,377	37,583
営業外費用	2,376,341	1,000	0	0	2,377,341	2,329,905	47,436
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,759,015	△ 42,000	0	0	1,717,015	1,694,348	22,667
消費税及び 地方消費税	610,133	43,000	0	0	653,133	631,059	22,074
雑 支 出	7,193	0	0	0	7,193	4,498	2,695
特別損失	10	1,998,000	0	0	1,998,010	1,987,846	10,164
過年度損益 修正	10	1,997,000	0	0	1,997,010	1,987,000	10,010
その他特別損失	0	1,000	0	0	1,000	846	154
予 備 費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
予 備 費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000

(注) 収益的支出は、消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出予算は、当初 27,188,145 千円を計上いたしましたが、営業外費用 1,000 千円、特別損失 1,998,000 千円をそれぞれ増額補正し、営業費用 195,879 千円を減額補正いたしましたので、最終予算額は 28,991,266 千円となりました。

これに対する決算額は 28,346,055 千円（人件費 3,755,240 千円、経費 6,963,687 千円、減価償却費 13,309,377 千円、営業外費用 2,329,905 千円、特別損失 1,987,846 千円）となり、不用額は 645,211 千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△ 減)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	繰 越 額	計		
高速鉄道事業 資本的収入	3,060,917	△ 98,555	0	2,962,362	2,504,122	△ 458,240
企業債	2,235,000	△ 105,000	0	2,130,000	1,805,000	△ 325,000
出資金	604,000	△ 21,000	0	583,000	496,000	△ 87,000
他会計補助金	221,917	14,445	0	236,362	188,185	△ 48,177
国庫補助金	0	13,000	0	13,000	0	△ 13,000
その他資本的収入	0	0	0	0	14,937	14,937

(注) 資本的収入は、消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入予算は、当初3,060,917千円を計上いたしましたが、他会計補助金14,445千円、国庫補助金13,000千円をそれぞれ増額補正し、企業債105,000千円、出資金21,000千円をそれぞれ減額補正いたしましたので、最終予算額は2,962,362千円となりました。

これに対する決算額は2,504,122千円となり、予算額に比べ458,240千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額						決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	予備費 支出額	流用増減額 (△ 減)	繰 越 額	計			
高 速 鉄 道 事 業 資 本 的 支 出	10,093,902	△ 48,264	0	0	0	10,045,638	9,590,381	80,000	375,257
建 設 改 良 費	3,035,764	△ 98,264	0	0	0	2,937,500	2,512,331	80,000	345,169
土 地	20,268	△ 10,230	0	0	0	10,038	4,955	0	5,083
建 物	1,596,233	△ 41,953	0	△ 95,279	0	1,459,001	1,259,335	80,000	119,666
線 路 設 備	143,302	0	0	△ 13,601	0	129,701	35,283	0	94,418
電 路 設 備	389,318	△ 32,534	0	57,409	0	414,193	414,192	0	1
車 両	8,438	0	0	37,436	0	45,874	45,873	0	1
機 械 装 置	729,575	△ 13,490	0	0	0	716,085	635,747	0	80,338
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	12,470	0	0	0	0	12,470	11,369	0	1,101
そ の 他 無 形 固 定 資 産	344	0	0	456	0	800	799	0	1
建 設 諸 費	135,816	△ 57	0	0	0	135,759	91,199	0	44,560
受 託 工 事 費	0	0	0	13,579	0	13,579	13,579	0	0
企 業 債 償 還 金	6,978,038	0	0	0	0	6,978,038	6,978,035	0	3
企 業 債 償 還 金	6,978,038	0	0	0	0	6,978,038	6,978,035	0	3
投 資	100	0	0	0	0	100	15	0	85
そ の 他 投 資	100	0	0	0	0	100	15	0	85
そ の 他 資 本 的 支 出	50,000	△ 50,000	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 資 本 的 支 出	50,000	△ 50,000	0	0	0	0	0	0	0
他 会 計 長 期 借 入 金 償 還 金	0	100,000	0	0	0	100,000	100,000	0	0
他 会 計 長 期 借 入 金 償 還 金	0	100,000	0	0	0	100,000	100,000	0	0
予 備 費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000
予 備 費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000

(注) 資本的支出は、消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出予算は、当初 10,093,902 千円を計上いたしましたが、他会計長期借入金償還金 100,000 千円を増額補正し、建設改良費 98,264 千円、その他資本的支出 50,000 千円をそれぞれ減額補正いたしましたので、最終予算額は 10,045,638 千円となりました。

これに対する決算額は、建設改良費 2,512,331 千円、企業債償還金 6,978,035 千円、投資 15 千円、他会計長期借入金償還金 100,000 千円となり、建設改良費 80,000 千円を翌年度へ繰り越しましたので、不用額は 375,257 千円となりました。

また、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 7,086,259 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 196,589 千円、過年度分損益勘定留保資金 569,449 千円及び当年度分損益勘定留保資金 6,115,091 千円で補てんし、なお不足する額 205,130 千円については、運転資金をもって措置いたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部			
区分 科目	令和元年度	平成30年度	増減 (△減)	区分 科目	令和元年度	平成30年度	増減 (△減)
営業費用	23,460,451	23,610,510	△ 150,059	営業収益	17,236,002	17,256,858	△ 20,856
営業外費用	1,698,597	1,792,120	△ 93,523	営業外収益	5,373,944	6,248,405	△ 874,461
特別損失	1,987,846	0	1,987,846	特別利益	101	698	△ 597
				小計	22,610,047	23,505,961	△ 895,914
				当年度 純損失	4,536,847	1,896,669	2,640,178
計	27,146,894	25,402,630	1,744,264	計	27,146,894	25,402,630	1,744,264

(注) 損益計算書は、消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 22,610,047 千円で、前年度に比較して 895,914 千円減少しておりますが、これは運輸雑収益の減等による営業収益の減 20,856 千円、長期前受金戻入の減等による営業外収益の減 874,461 千円、過年度損益修正益の皆減等による特別利益の減 597 千円によるものです。

また、総費用は 27,146,894 千円で、前年度に比較して 1,744,264 千円増加しておりますが、これは減価償却費の減等による営業費用の減 150,059 千円、支払利息の減等による営業外費用の減 93,523 千円、過年度損益修正損の皆増等による特別損失の増 1,987,846 千円によるものです。

以上により、当年度は 4,536,847 千円の純損失となりました。

(4) 剰余金計算書及び欠損金処理計算書(案)

資本剰余金については、前年度末残高が 6,094,790 千円でありましたが、固定資産台帳修正に伴い、その他資本剰余金 974 千円が増加し、他会計補助金 646,984 千円、国庫補助金 582,286 千円がそれぞれ減少いたしました。

欠損金については、前年度未処理欠損金は 94,329,197 千円であり、前年度欠損金処理額はなく、当年度純損失 4,536,847 千円、固定資産台帳修正に伴うその他未処分利益剰余金変動額 12,148,090 千円をそれぞれ計上いたしましたので、当年度未処理欠損金は 86,717,954 千円となりましたが、議決を経て現存しない償却資産に係る資本剰余金 40,715 千円を取り崩すことにより、86,677,239 千円が翌年度に繰り越されることとなります。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区分 科目	令和元年度	平成30年度	増 減 (△ 減)	区分 科目	令和元年度	平成30年度	増 減 (△ 減)
固定資産	273,526,497	262,762,309	10,764,188	固定負債	130,419,595	136,244,102	△ 5,824,507
流動資産	5,338,462	6,860,655	△ 1,522,193	流動負債	13,042,166	13,269,241	△ 227,075
				繰延収益	119,578,169	111,163,539	8,414,630
				資本金	97,676,489	97,180,489	496,000
				剰余金	△ 81,851,460	△ 88,234,407	6,382,947
計	278,864,959	269,622,964	9,241,995	計	278,864,959	269,622,964	9,241,995

(注) 貸借対照表は、消費税及び地方消費税抜きの額である。

資産については、前年度 269,622,964 千円に比較して 9,241,995 千円増加しておりますが、これは固定資産台帳修正に伴う減価償却累計額の減等による固定資産の増 10,764,188 千円と現金及び預金の減等による流動資産の減 1,522,193 千円によるものです。

なお、用地の内訳につきましては別表のとおりであります。

負債・資本においても前年度に比較して 9,241,995 千円の増加となっております。固定負債は企業債の減等により 5,824,507 千円の減、流動負債は未払金の減等により 227,075 千円の減、繰延収益は固定資産台帳修正に伴う収益化累計額の減等により 8,414,630 千円の増、資本金は一般会計からの出資により 496,000 千円の増、剰余金は固定資産台帳修正に伴う資本剰余金 1,228,296 千円の減、当年度純損失 4,536,847 千円の計上及び固定資産台帳修正に伴うその他未処分利益剰余金変動額 12,148,090 千円の計上により 6,382,947 千円の増となりました。

以上が、令和元年度仙台市高速鉄道事業会計決算の大要であります。

別表

用地内訳表

令和2年3月31日現在

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価格 (千円)	使用目的	備考
線 路 停 車 場 用 地	南 北 線	仙台市太白区富沢一丁目2-1	3,174	178,413	線路 線路 線路 駅舎, 換気口 ほか
		仙台市泉区七北田字真美沢162-20外	2,151	70,096	
		仙台市泉区八乙女中央二丁目23-1外	20,030	1,269,309	
		仙台市若林区清水小路3-5外	17,335	2,419,426	
	小 計	42,690	3,937,244		
	東 西 線	仙台市若林区荒井字東21-4外	1,726	87,566	線路 駅舎, 換気口 ほか
仙台市若林区荒井字東13-3外		16,765	2,510,073		
小 計		18,491	2,597,639		
計	61,181	6,534,883			
変 電 所 用 地	南 北 線	仙台市太白区長町南三丁目1-12	1,000	97,482	長町南 土樋 北仙台
		仙台市若林区土樋295-2外	718	74,869	
		仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	597	224,160	
	小 計	2,315	396,511		
	東 西 線	仙台市若林区卸町二丁目1-59外	835	84,530	卸町 青葉山
		仙台市青葉区荒巻字青葉6-26外	598	32,872	
小 計	1,433	117,402			
計	3,748	513,913			
車 庫 ・ 工 場 用 地	南 北 線	仙台市太白区富沢字松山7-2	41,067	1,396,689	富沢車両基地 富沢車両基地 富沢車両基地 富沢車両基地 (引込線)
		仙台市太白区富沢字中河原2-1	33,343	1,162,812	
		仙台市太白区富沢字外河原14-4	8,648	293,947	
		仙台市太白区富沢字川前東36-2外	6,163	252,104	
	小 計	89,221	3,105,552		
	東 西 線	仙台市若林区荒井字沓形10-2外	24,604	609,824	荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 (引込線)
仙台市若林区荒井字東13-2外		1,391	42,583		
仙台市若林区荒井字南原田32-3外		5,073	128,128		
仙台市若林区荒井字矢取東10外		24,487	683,772		
仙台市若林区荒井字揚場1外		10,655	318,825		
小 計	66,210	1,783,132			
計	155,431	4,888,684			
事務所用地	仙台市青葉区木町通一丁目111-1外	2,797	1,372,189	局庁舎	
	計	2,797	1,372,189		
そ の 他 用 地	南 北 線	仙台市太白区長町南四丁目34-2外	6,040	323,493	
		仙台市泉区黒松三丁目1-831外	10,710	394,232	
	計	16,750	717,725		
合 計		239,907	14,027,394		

